

学びのススメ

基礎学力確認テストの結果を受けて



先週、金曜日に基礎学力確認テストの結果連絡票が各学年で配付されました。自分が立てた目標点数・順位などは達成することができましたか？

1年生にとっては、初めての順位付けに、他学年にも増して一喜一憂があったのではないかと思います。

テスト後にいつも言うことは、「テストが終わった今が大事！」ということです。

① 間違った問題を解き直す。

→ 学習内容の確実な定着を目指す。

② 「どうして間違ったのか」「なぜ解けなかったのか」を分析する。

= 問題の所在を明らかにする

→ 学習量が足りない（自信がつくまでやっていない）、学習方法が悪い、ケアレスミスが多い…



上記のような取り組みをしてほしいわけですが、①については、教科によって再テスト等が行われています。今回のテストの内容は、各教科とも必ず覚えてほしい、身につけてほしいという基礎的・基本的内容です。間違った、もしくは解けなかった問題は、繰り返し学習し、今のうちに身につけておく必要があるのです。

また②のうち、「ケアレスミス」がある人には、「うっかりノート」の作成をおすすめします。

「うっかりノート」とは？

自分のミスパターンを把握するため、小平中でここ数年推奨しているノートづくりのこと。「うっかりノート」には、まず、テストで「うっかりミス」をした問題を書き出す。そして、自分がどの段階で間違ったのか、どんなミスをしたのか、なぜ解けなかったのか等について分析し、その内容をメモとして書き込んでいく。

1年生のために説明をしておきましたが、2・3年生においては、だいぶ市民権を得てきたノートづくりです。

やりっ放しでは力つきません。テスト後の取り組みを充実させることでつく「力」があります。

ちなみに、先生方も、皆さんのテスト結果を分析し、成果や課題を洗い出したり、今後の対応策を練ったりしているのです。先生方も「やりっぱなし」にはしていません。なぜなら、そこに意味がないと分かっているからです。

テストは、自分の学習状況を振り返ったり、改善を図ったりするためのよい機会だと思ってください。そうすれば、必然的にテスト後の取り組みを大事にしてくれる人が増えるのではないのでしょうか。

おみせの探偵